

2023 まちづくりアドバイザー活動事例集

【北 区】	(担当：田尾 純子)	
市民しんぶん北区版の取材・記事作成		1
市政協力委員連絡協議会会長会議におけるワークショップ		1
【上 京 区】	(担当：亀村 佳都)	
上京区民まちづくり会議「上京！MOW(もう)」		2
上京朝カフェ		2
【左 京 区】	(担当：吉田 泰基)	
「山村都市交流の森」座談会		3
鞍馬の火祭ボランティア支援		3
【中 京 区】	(担当：松井 朋子)	
中京クーチャーセンターとディレクターの役割		4
LINE を活用した朱三デジタル回覧板の実施と普及		4
【東 山 区】	(担当：天岡 昌代)	
東山区の人口減少に取り組む「アイデアソン」の開催		5
東山区地域子育て交流事業第1回「すくすくひろば」の開催		5
【山 科 区】	(担当：谷 亮治)	
山科“きずな”支援事業採択団体に対する調査企画		6
やましなGOGOカフェ		6
【下 京 区】	(担当：浅田 真実)	
下京区長 Meet up		7
下京ローカルグッドアクション		7
【南 区】	(担当：加藤 ゆうこ)	
情報発信事業の取材と編集への協力		8
事業に協力する区民や事業者を増やす試みへの協力		8

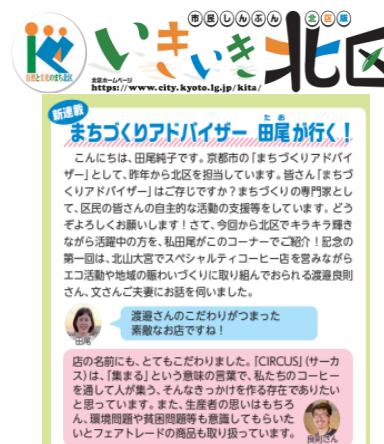
【右 京 区】	(担当：佐藤 友一)
右京コトハジメテラス	9
右京区まちづくり支援事業及び関連事業	9
【西 京 区】	(担当：西原 秀倫)
にしきょうWEEK	10
レッツ自治活動！大作戦	10
【西京区洛西支所】	(担当：木村 響子)
都市間連携による「京都・西山」観光振興事業	11
大原野「地域ブランド」戦略の推進	11
【伏 見 区】	(担当：朝倉 眞一)
久我・久我の杜・羽束師地域のまちづくり	12
向島地域のまちづくり	12
【伏見区深草支所】	(担当：大塚 敏之)
未来へ紡ぐ深草の記憶 アーカイブを活用した文化の保存・継承・創造	13
深草ふれあい事業（ふれあいプラザ）	13
【伏見区醍醐支所】	(担当：山田 大地)
だいがまちづくりプレイヤー養成講座	14
はばたけ未来へ！醍醐プロジェクト	14
【地域コミュニティサポートセンター】	(担当：小林 明音)
地域コミュニティ活性化ビジョンの推進	15

市民しんぶん北区版の取材・記事作成

【事業概要】

毎月15日に発行している市民しんぶん北区版において、まちづくりアドバイザーがまちづくりに取り組む多様な主体を取材し、閲覧した住民等がまちづくりへのヒントを得たり、まちづくりに参加するきっかけとなるような記事を作成しました。（7月15日号、8月15号、11月15号）

取材を通じて、北区でまちづくりに取り組まれている方々と顔の見える関係づくりを行うことができました。



【役割／関わり方】

取材依頼、取材、記事の作成

- 活動内容やエリアなどを考慮し、担当者と相談のうえ適切な取材先を選定しました。
- 限られた紙面で、その方の人柄が伝わるような記事作成を心掛けました。
- 取材先へ依頼、記事の確認、発行後のフィードバックなどを行いました。

市政協力委員連絡協議会会長会議におけるワークショップ

【事業概要】

地域では、各種団体の役員の高齢化等が進んでおり、将来にわたって活動を維持していくため、組織運営の見直しが望まれています。

そこで、北区の市政協力委員連絡協議会会長会議（18学区で構成）において、各学区内における運営上の課題や工夫されている新しい取組についてワークショップ形式で情報共有を図りました。



【役割／関わり方】

ワークショップの企画・立案とファシリテーション

- ワークショップ全体の内容やグループワークの進め方について提案やアドバイスをしました。
- 会議の当日、全体進行を担当しました。
- 会議終了後、各グループで出された意見等のとりまとめを行いました。

この事業を担当したアドバイザー 田尾 純子

【上京区】

上京区民まちづくり会議「上京！MOW」

【事業概要】

「上京区基本計画 2025」に掲げる将来像の実現に向けて、区内の様々な活動をしている人や団体をつなぎ、情報共有を行う場として「上京！MOW」を毎年開催しています。今年度は、京都市地球温暖化対策室から京都市・上京区での脱炭素社会をテーマにした取組紹介の後、53名の参加者が環境や歴史と文化、暮らしを守る地域の絆など6つのテーマで話し合いました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営支援

- ワークショッププログラムへの助言
- 準備から当日までのスケジュールの確認
- 区民への参加の呼びかけ
- 当日意見交換会における進行
- 実施報告書の作成

上京朝カフェ

【事業概要】

区民が主体的に運営を担う、カフェのような気軽な雰囲気でもちの人たちが語り合う上京朝カフェ。2015年の「上京朝まっ茶カフェ」に始まり、2019年に「上京朝カフェ」と名前が変わりました。人と人が出会い、自己紹介や地域活動の情報交換をして、上京のまちや人の魅力を知り、思いを共有する場を原則毎月第4木曜日の8時15分～9時30分に開催しています。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営支援

- 参加者とのまちづくりに関する情報共有
- 区民への参加の呼びかけ
- 摘録の作成

この事業を担当したアドバイザー 亀村 佳都

【左京区】

「山村都市交流の森」座談会

【事業概要】左京区花脊にある「山村都市交流の森」では、センターエリア全体の活性化を図るため、令和4年度に民間活用事業者を公募し、多様な連携による新たな利活用を進めています。

事業者の公募にあたっては、地域住民の多様な意見や思いなども踏まえながら、センターエリアの利活用方法を提案してもらうことが重要となります。そこで、次代の担い手となるおおむね50歳以下の住民の方々に集まっていたいただき、交流の森にて2回にわたり座談会を開催しました。

住民の方からは、観光拠点施設としての機能だけでなく、地域住民が日用品を購入できる場、住民同士が交流できる場など、様々な意見をいただきました。



【役割／関わり方】

座談会の開催に向けたトータルサポート

- 座談会参加者の調整、当日飲食物等の手配
- 当日プログラムの作成及び座談会の司会進行
- 開催チラシ及び当日資料（次第・参加者アンケート等）の作成
- 座談会意見の取りまとめ資料の作成

鞍馬の火祭ボランティア支援

【事業概要】コロナ禍で中止していた鞍馬の火祭が、3年ぶりに開催されました。当日は大勢の見物客が押し寄せるため、鞍馬火祭保存会が募った沿道での誘導などを担うボランティアの運営をサポートしました。

当日は、大学生や社会人合わせて約60名がボランティアに参加しました。叡山電鉄の出町柳駅前や鞍馬駅前では、祭りのパンフレットを配布しました。また、火祭がはじまると、沿道のいくつかのポイントに分かれ、プラカードなどをもちながら誘導にあたりました。

警察発表では、6,000人を超える人出だったそうですが、大きな混乱や事故もなく、無事に祭りが執り行われました。



【役割／関わり方】

ボランティア運営の全体支援

- ボランティア向け手引きの作成、ボランティア説明会の運営支援
- 関係者及びボランティアリーダーの連絡調整
- 人員配置計画の策定、当日運営全般の支援

この事業を担当したアドバイザー 吉田 泰基

【中京区】

中京クーチャーセンターとディレクターの役割

【事業概要】 第3期中京区基本計画を策定した際に、中京クーチャーセンター(2017年参照)の機能を拡大しました。地域課題の発見や課題に取り組む担い手の発掘強化、多様な主体を巻き込み、対話(クーチャーセッション)や協働を促すことで新しいアイデアやしくみ、プロジェクトを立ち上げ、本計画の推進を目指しています。(参照：

<https://www.city.kyoto.lg.jp/nakagyo/page/0000201416.html>)



【役割／関わり方】中京クーチャーセンターのディレクター

- 中京区民まちづくり支援事業の申請時の相談による地域課題と担い手の発掘
- 中京マチビト Café 等交流会の実施を様々な担い手へ紹介し参加を促す
- 中京マチビト Café 等交流会の場においての様々な個人、団体へのアプローチ、地域課題と担い手の発掘とマッチングのコーディネート
- 地域課題に取り組む担い手からの相談に対し中京クーチャーセッション(対話の場)を企画・進行、アクションナビゲーター(先輩団体)のコーディネート
- クーチャーセッションにて生み出された課題解決に向けたアイデア、しくみ、協働によるプロジェクトについて、継続につながるよう伴走支援
- 区民の素朴なまちづくりに関する疑問・相談対応のため、月1回中京まちづくり相談DAYを区役所1階で実施し、地域課題と担い手の発掘、マッチング

LINEを活用した朱雀デジタル回覧板の実施と普及

【事業概要】 スマートフォンアプリ LINE (LINE 公式アカウント) を活用した自治連合会から住民に向けた情報発信、行政からの回覧チラシ等の電子化による情報共有を行う地域活動の伴走支援をしました。また、デジタル回覧板普及に向けて、スマホに不慣れな高齢者向けのスマホ教室のコーディネートをしました。今年度は朱雀第三学区にて実施し、今後実施団体を広げていきます。



【役割／関わり方】

デジタル回覧板の運営サポートとスマホ教室のコーディネートで伴走支援

- デジタル回覧板の開設をサポート
- デジタル回覧板の運営研修の実施
- デジタル回覧板の広報のサポート
- スマホ教室実施にあたってのボランティアコーディネート
- スマホ教室での資料の作成

この事業を担当したアドバイザー 松井朋子

【東山区】

東山区の人口減少に取り組む「アイデアソン」の開催

【事業概要】

「住んでこそ！東山プロジェクト」を区基本計画の筆頭に上げ、区民・事業者・行政が連携し、住まいの環境整備や、居住・移住策の実施に向けた連帯体制の構築など、移住意欲や定住意欲を喚起する方策の検討を進めている。その連携の中で、事業者に対して「地域に溶け込んだ定住の取組」「移住に向けての新しいビジネスモデルの構築」等を進めるために「アイデアソン」を開催した。



アイデアソン本体の会議は、二日間に渡って行い、以降はテーマ別に 4 チームに分かれて議論をした。個別にチーム会議を行い、メンバーからの紹介や関心のある人を順次招集しながらチームの運営を行った。今後、議論したアイデアを報告する。

【役割／関わり方】

アイデアソンの企画提案と運営。テーマ別に分かれたチーム会議の運営。

- アイデアソンの開催に向けて、出席者の選定と課題の抽出。
- アイデアソンの当日運営。
- アイデアソン終了後、各テーマに分かれたチーム会議の収集と運営。

東山区地域子育て交流事業第 1 回「すくすくひろば」の開催

【事業概要】

東山区では、子育て家庭と地域のつながりをつくり、地域ぐるみで子育てしやすいまちづくりを進めている。区内の子育て関係機関等が連携し、乳幼児の親子がふれあい、楽しい時間を過ごして頂くとともに、地域の子育て関係機関や支援者とながらることを目的に、第 1 回「すくすくひろば」を開催した。



第 1 回目の開催ということで、実行委員会形式で意見交換をしながら、プログラムやコーナーの取組を検討した。当日は、たくさんの参加者に楽しんでもらうことができた。

第 2 回目の開催に向けては、地域の身近な相談相手である民生児童委員さんのコーナーを設けるなど地域の支援者等と交流しやすい場づくりを提案したい。

【役割／関わり方】

開催に向けて行われた実行委員会に出席して、まちアドからの視点で意見交換を行った。当日は、情報コーナーを担当した。

- 実行委員会に出席。
- 当日の情報コーナーの担当。
- 来場者や当日参加された民生児童委員さんとの交流。

この事業を担当したアドバイザー 天岡昌代

【山科区】

山科“きずな”支援事業採択団体に対する調査企画

【事業概要】

山科区では、地域団体、NPO 法人、大学等が自発的・自主的に企画、運営される事業に対し、必要とする経費の一部を補助する「山科“きずな”支援事業」を実施してきましたが、この制度の効果の検証と見直しを検討しています。

この取組に資するため、過去の採択団体を対象としたヒアリングや質問紙調査の企画・調査・分析から報告書の作成までを支援してきました。

山科“きずな”支援事業に係るアンケートについて

山科区役所では、山科におけるまちづくりの活動の現状や課題を把握するため、これまでに山科7にアンケート調査を実施いたします。
お預かりした個人情報は厳正に管理し、目的外に使用することはありませんので、ぜひとも御回答いただきました情報は、今後の区政の参考にさせていただきます。
なお、本調査につきましては京都橘大学の太田雅之助教に調査の企画立案及びデータの分析

・1 団体名を御記入ください。
必須 100文字以内で入力してください。
団体名

・2 貴団体の構成員数（中心となって動かれている方）は何人くらいですか。
☐ 2～5人程度
☐ 5～10人程度
☐ 10～20人程度

【役割／関わり方】

調査企画に関する一連の取組（調査、分析、報告書作成）の支援。

- 申請書及び報告書を基に、過去の採択団体リストの作成。
- ヒアリング調査や調査票の設計。
- データの分析と報告書の作成。
- 京都橘大学を含めた調査企画会議のコーディネート。

やましな GOGO カフェ

【事業概要】

山科区では、山科区民の出会いと交流を目的として「やましな GOGO カフェ」を実施しています。

今年度の企画にあたっては、コロナ禍での対話の場の在り方を模索する取組として、対面とオンラインの両方を取り入れたハイブリッド形式で実施するとともに、ゲストを招いて対話の場づくりについて学ぶ機会を取り入れるなど新しい要素を取り入れました（画像はゲストの山本恵果氏提供）。



※今年度の本事業は「立命館大学グラスルーツ・イノベーションプログラム」(GRIP) の助成を受けて実施。

【役割／関わり方】

対話の場づくりにおける一連の取組の支援。

- 準備段階における企画、事前打合せ会議の運営、ゲストとの調整。
- 実施段階における当日のファシリテーション、対面とオンラインの併用によるハイブリッド体制での運営。

山科区役所 担当アドバイザー 谷 亮治

【下京区】

下京区長 Meet up

【事業概要】

区長と地域のリーダーとの懇談の場「区長懇談会」。平成30年度からは名称を「下京区長 Meet up」とし、ワークショップ形式で地域課題の解決に向けた意見交換を行っている。今年度は、対面形式で「コロナ禍での活動再開に関するアンケート調査の結果報告」、「京都市立芸術大学移転整備事業に関して」等の講演を行いました。



【役割／関わり方】

企画段階から当日までの一連の運営サポート

- 企画段階におけるアドバイス・情報提供
- 報告資料（事前アンケート結果のとりまとめ）の作成・当日の発表
- 当日の運営サポート

下京ローカルグッドアクション

【事業概要】

下京区では今年度、基本計画推進強化事業として、下京いきいき市民活動センターとの連携により進めてきた「下京ローカルグッドレポーター」の活動をベースに、まちの人に出会い、まちの人の想いに触れて、自分の行動でまちを良くするアクションプランを企画・提案するチーム活動、「下京ローカルグッドアクション」を始動しました。



【役割／関わり方】

企画全体の運営サポートとチーム活動のコーディネート

- 企画全体運営への助言・当日の進行サポート
- チーム活動のコーディネート・情報提供やアドバイス
- メンターなど外部関係者との企画調整

下京区担当アドバイザー 浅田 真実

【南区】

情報発信事業の取材と編集への協力

【事業概要】

南区情報ステーション「みなみなみなみオンライン」では、地域で活動する団体や企業にインタビューをおこない、記事を Web 上に掲載していく情報発信事業をおこなっています。今年度は特に、地域に根差すことを目指しつつも、時代に即した新しい方法を試みている事例を取り上げることが多かったため、地域事情にさほど詳しくなくともテーマに関心があるというこれからの読者に向けて、情報をどのように伝えていくのがよいか、関係者と取材対象とで共に考えていけるよう注力しました。



【役割／関わり方】

地域コミュニティのこれまでの関わり、これからの関わりを考慮した記事作成への助言

- 取材団体を取りあげるタイミングや事前打ち合わせの調整。
- 取材関係者に対する事前・事後の地域情報の提供。
- 取材対象の活動が今後継続や充実に向かえるような質問のフォロー。

事業に協力する区民や事業者を増やす試みへの協力

【事業概要】

食育指導員が考案した料理のレシピカードを、冊子『地産野菜のおいしい食べ方レシピ集』として発行するにあたり、より多くの区民や事業者が協力していくための方策を中心に協力しました。年々関心が高まる食や農の分野であることから、食育指導員をはじめとした区民のエンパワメントを意図しつつも、今年度は、区内の多様な事業者の協力の輪を広げながら、冊子制作を伴走支援しました。



【役割／関わり方】

地域の個性と各分野のプロの知恵を活かした冊子づくりプロジェクトの制作支援

- 地域の特色を生かした特集ページの提案と編集協力。
- 関連する産業分野等の地域的な課題抽出と、連携方法を探るためのリサーチ。
- テーマに関連する地域のプロ（事業者）の発掘と協力依頼のコーディネート。
- 冊子完成後の研修事業や普及啓発、また今後関わりたい人の参加の場を広げていくことを意図した進め方の助言。

この事業を担当したアドバイザー 加藤 ゆうこ

右京コトハジメテラス

【事業概要】

令和3年度に策定した右京区基本計画では、一人ひとりが「こうなったらいいな」という未来のイメージを描いてそれを語り合うことで、「わたしたち」の未来が見えてくるという道筋を示しています。右京コトハジメテラスでは、その思考方法を実践し、一人ひとりが未来についてのイメージを整理し、それに近づく



ためにどんな一歩を踏み出すか考えることをサポートしています。今年度は日曜日開催と平日開催の2パターン用意し、それぞれゲストのインタビューを冒頭に入れた2日間のプログラムで実施しました。

【役割／関わり方】

プログラム案検討や実施におけるサポート

- 目的達成のために、適切なプログラムとなるよう、インタビューの構成も含めアドバイス。
- 当日のプログラムにおける全体進行を担当。

右京区まちづくり支援事業及び関連事業

【事業概要】

区民の自発的・主体的なまちづくり活動を資金面、広報面等で支援する本事業は、地域力向上、大学・学生、スタートアップの3種類のカテゴリーがあります。

今年度は全ての団体の申請時のヒアリングに同席しました。また、支援事業実施者同士の情報交換の場として MACHIKO カフェやまちづくり区民会議を活用しています。



【役割／関わり方】

申請団体との面談におけるアドバイスや交流会の企画

- 全ての団体の申請段階で区職員とともに、ヒアリングし、アドバイス。
- 可能な限り、実施現場を訪問して、活動状況を把握。
- 団体の情報交換が進み今後の活動に活かせるような関連事業の企画。

この事業を担当したアドバイザー 佐藤 友一

【西京区】

にしきょう WEEK

【事業概要】

西京区の人と魅力を深く味わう“地元がいつもよりちょっと特別になる1週間”と題して、区内の店舗や施設を巡る『にしきょう WEEK』を初開催しました。

区内に点在する飲食店や寺社、金融機関などが持つ多彩な魅力を、区民に身近に触れてもらい西京区の魅力を再発見してもらおうと、フリーマガジン「西京じかん」編集部と連携し、リーフレットの作成やスタンプラリーを展開。期間限定メニューやコーヒー教室の開催、ファッションショーや雅楽コンサートなど、工夫を凝らした様々な企画が楽しめる1週間となりました。

* 西京じかん編集部と西京区役所との共催事業です



【役割／関わり方】

多様な主体の連帯による事業実施に向けた支援

- 事業の方向性や企画の検討、実施に向けた展開を支援しました。
- 事業者と区役所、また事業者間の関係構築をサポートしました。
- 西京じかん編集部と西京区役所の協働に向けた調整を図りました。

レッツ自治活動！大作戦

【事業概要】

自治会活動の持続に向けて、アンケート調査や広報活動をおこなってきた『レッツ自治活動！大作戦』。今年度は、ICTを活用した自治活動の負担軽減と魅力発信に取り組みました。檜原学区自治連合会と連携し、「いちのいち」を活用した自治連合会内での情報共有の円滑化を図るとともに、「Instagram」を用いた学区内での情報交換を促す仕組みづくりを進めました。また、自治会や地域活動に親しみをもてる4コマ漫画を作成し、Instagramや区役所HPにて発信しました。



【役割／関わり方】

地域活動におけるICTの積極的活用に向けた支援

- 事業の方向性や企画の検討、実施に向けた展開を支援しました
- デジタルツール活用への理解促進や、取組の周知拡大など、多くの区民の参画に向けたサポートをしました。
- 自治連合会や地域団体と、区役所や支援者の協働に向けた調整を図りました。

この事業を担当したアドバイザー 西原 秀倫

【洛西支所】

都市間連携による「京都・西山」観光振興事業

【事業概要】

令和2年度に再興された大原野保勝会に参画する地域の社寺、飲食店等や長岡京市、向日市、大山崎町の近隣都市と連携し、放置竹林の活用や自転車等を活用した観光振興策を企画・展開し、「京都・西山」のブランドを内外に広く周知しています。令和4年度は、『京都西山ヒルクライム参拝』の実施や、『KYOTO 西山 大原野 竹林キャンプ』実施に関わる調整や、竹のサイクルラック作成に向けての協力を行いました。



【役割／関わり方】

- ・大原野保勝会と連動した企画の立案補助、運営協力
- ・地域で活動する組織/団体/個人の情報収集や連携促進におけるコーディネート
- ・若手職員チーム「興しやす☆京都西山」と連携した取材調整や同行

大原野「地域ブランド」戦略の推進

【事業概要】

なんやかんや「大原野」推進協議会では、地域住民が主体となり、大原野「地域ブランド」戦略に掲げる「味わいたい・訪ねたい・住みたいまち」大原野の実現に向け、農業や観光に焦点を当てた各種事業に取り組んでいます。令和4年度は、『え!?今頃ひまわり大原野』ひまわり畑の運営や、『フジバカマ祭り』・『大原野農産物品評会・即売会』の開催、HPやSNSを通じたより効果的な情報発信に対するサポートを行いました。



【役割／関わり方】

- ・大原野Instagramフォトコンテスト全般に関わる運営協力、助言
- ・SNS 発信におけるコンテンツ作成や情報整理
- ・持続可能な情報発信に向けての提案や助言、地域コミュニティのICT 支援

この事業を担当したアドバイザー 木村響子

【伏見区役所】

久我・久我の杜・羽束師地域のまちづくり

【事業概要】

昨年度から毎月定例のまちづくり協議会の会合に参加し、地域みなさんに少しずつ顔を知っていただけるようになりました。本年度は「第4回健康・福祉まつり」を中心に、みなさんの地域活動も少しずつ動き出しました。

また年度当初に地域のまちづくりビジョン策定から10年を振り返るワークショップを行いました。活動のお手伝いをしながら、節目ごとに地域のこれからを考える機会を持てるように、サポートしていきたいと思います。



【役割／関わり方】

地域活動をうまく進める、広げていくためのサポート役

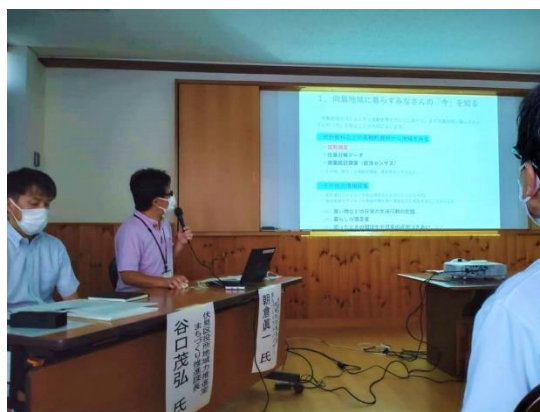
- 地域みなさん相互の意見交換のファシリテーション
- 円滑な進行や今後に向けた提案など、まちづくり協議会の運営面のサポート
- 統計資料を活用した現状分析や将来に向けた活動に関する情報提供

向島地域のまちづくり

【事業概要】

向島地域では、まちづくりビジョンの実現に向けて、テーマごとの部会で活発に活動されています。昨年度から向島まつり実行委員会への参加や区民活動支援事業などを通じて、地域みなさんに関わる機会を持つてきました。

本年度は、部会の活動などを共有する「向島まちづくりネットワーク合同会議」にて、地域の現状とこれからについてお話する機会をいただきました。これからもかかわりを深めながら、サポートを広げていければと思います。



【役割／関わり方】

地域活動の連携、広がりやつながりづくりのためのサポート役

- 区民活動支援事業や地域の会合を通じた細かな情報提供
- 統計資料を活用した現状分析や将来に向けた活動に関する情報提供

この事業を担当したアドバイザー 朝倉 真一

【深草支所】

未来へ紡ぐ深草の記憶 アーカイブを活用した文化の 保存・継承・創造

【事業概要】

令和3年度にデジタルアーカイブ化した古写真等を活用して、地域のルーツや歴史・文化を共有して次の世代へと引き継ぐとともに、多彩で奥深い深草の魅力を地域内外に幅広く発信し、歴史・文化の力を活用した地域の活性化へとつなげることを目指しています。

そして将来的には、地域の誰もが深草の過去・現在・未来を自由に語り・つながることのできる「深草学」の創造を目指していきます。

事業運営については、令和3年度は深草支所が事務局を担っていましたが、令和4年度からは、地域の文化・歴史団体や龍谷大学で構成する実行委員会のメンバーが企画運営を行っています。



【役割／関わり方】

複数の主体（実行委員会形式）による事業の企画運営支援

- 事業全体の企画運営に関する助言
- 個々のイベントの企画運営に対する助言と支援
- 実行委員会の運営支援

深草ふれあい事業（ふれあいプラザ）

【事業概要】

深草では、毎年10月に幅広い世代の住民が相互に交流を深めるとともに、深草のよさを実感し、地元への愛着を深めてもらうことを目的として、深草ふれあい事業（ふれあいプラザ）を開催しています。

令和4年度のふれあいプラザは、休止となりましたが、この休止期間中に、イベントの中身の見直しや経費節減など、持続可能で、

地域が主体となって開催する運営方法を検討するなど、令和5年度の復活に向けた準備を進めています。



【役割／関わり方】

行政による取り組みに関する支援（事業の見直し検討に関する支援）

- 見直し方針の方向性に関する助言
- 見直し作業に関する助言
- 会議体（チーム会議など）の運営支援

この事業を担当したアドバイザー 大塚 敏之

【醍醐支所】

だいが まちづくりプレイヤー養成講座

醍醐でのまちづくり活動の裾野を広げるため、「だいが まちづくりプレイヤー養成講座」（全5回）を実施しました。

23名の受講生は、醍醐地域の概況を学んだあと、子育て支援、高齢者の健康づくり、地域の歴史と文化再発見、大学生との連携などをテーマに、地域で活動するまちづくりプレイヤーによる講座（講義＋ワークショップ）を受講しました。また、希望者は、講師の活動現場でフィールドワークも体験しました。

修了生は、支所が地域に派遣する「だいが地域活動応援隊」などでの活躍が期待されます。



【役割／関わり方】

講座枠組みの立案・講師の選定・ワークショップの企画・修了生へのアフターフォロー

- 講座の目的に沿った開催形式の提案や講師の選定、講師との発表内容の調整
- 講座・ワークショップ当日の司会進行
- 醍醐いきいき市民活動センターと協働した修了生の活動サポート

はばたけ未来へ！醍醐プロジェクト

醍醐支所の若手職員が市民サービス向上のため課題解決に取り組む「はばたけ未来へ！醍醐プロジェクト」。今年度は、採用1年目の職員を中心に、「支所の困りごと解決チーム」を結成し、車いすユーザーの目線で庁舎の課題を点検し、来庁者に分かりやすい掲示を提案したり、メンバー全員で掲示板の清掃を行ったりしました。

また、これらの活動の成果を年度末の報告会において発表しました。



【役割／関わり方】

事務局会議への参加・プロジェクトミーティングにおけるファシリテーション

- 運営事務局によるプロジェクト枠組み検討会議への参加
- 部署の枠を超えて参加した若手職員間のミーティングでのファシリテーション

この事業を担当したアドバイザー 山田 大地

【地域コミュニティサポートセンター】

地域コミュニティ活性化ビジョンの推進

【事業概要】

令和4年1月に策定した「地域コミュニティ活性化ビジョン」（以下、ビジョン）では、社会状況が変化する中でも、住民一人一人が地域の一員として相互に多様な在り方を認め合い、つながり、支え合うことで、安心して快適に暮らせる地域社会を実現できるよう、取組を推進することとしている。ビジョンに基づき、より効果的に施策を推進するため、通年業務（相談対応、事例収集、地域支援等）に加え、令和4年度は主に以下の事業を実施した。



(1) 令和3年度 京都市自治会・町内会アンケートの分析

行政区別、世帯構成別、加入世帯数別などで町内会運営の特徴や役員の負担の度合などを分析し、今後の施策検討を行った。また、回答内容から工夫して活動している様子が見られる自治会・町内会に追加ヒアリングを行い、パンフレット（右図）に工夫事例として掲載するなど、広く市民向けに発信している。

(2) 京都市自治会・町内会&NPO おうえんポータルサイトのリニューアル

京都における地域活動の基礎情報や、自治会・町内会の運営に役立つ情報が、わかりやすく閲覧できる内容を提案した。また、これまでにヒアリングやアンケートなどで収集した活動事例をキーワードで検索して閲覧できるようにとりまとめた。

(3) 地域コミュニティを考える会の開催

各区・支所、地域自治推進室、その他関係部署等の職員同士が、地域コミュニティ活性化に係る課題や事例等について情報共有や意見交換等を行うことにより、知識・理解を深め、それぞれの業務に生かすとともに、庁内の連携・協働を促進することを目的として実施した。全体を通してビジョンと連動した構成にする（右表）とともに、各回の企画運営は15名のまちづくりアドバイザーが、それぞれの強みや担当行政区の事例を持ち寄って連携することで、参加者同士で新たなアイデアを出し合えるプログラムになるよう検討した。

	ビジョン	タイトル
第1回 6/17	地域コミュニティの現状と課題、取り巻く社会環境の変化	私と地域コミュニティ ～ハンケイ50mのつながり～
第2回 9/16	【基本指針1】 一人一人の多様性を	もし町内会がなかったら？ ～個人と地域コミュニティのつながり～
第3回 10/28	踏まえた誰もが参加しやすい地域づくり	地域活動への住民の参加促進 ～令和のライフステージに応じた多様な関わり方～
第4回 11/18	【基本指針2】 多様な地域の特性に即した地域活動の推進	持続可能な地域活動のために（1） ～地域に関わる様々な立場を理解しよう～
第5回 12/16		持続可能な地域活動のために（2） ～行政支援の引き出しを増やそう～
第6回 1/20	【基本指針3】 多様な主体の連携・協働の促進	事例から学ぶ多様な主体の連携（1） ～地域×NPOや大学等との取り組みから学ぶ～
第7回 2/17		事例から学ぶ多様な主体の連携（2） ～連携をコーディネートするときのポイント～



【役割／関わり方】

- (1) 集計や分析などの助言、報告資料構成案の提供など
- (2) ページ構成や掲載方法などの助言、地域活動事例の提供など
- (3) 全体企画の立案と進捗管理、各回を担当するまちアドとの連携、事例紹介など

この事業を担当したアドバイザー 小林 明音